

人と人をむすぶ、
人と世界をむすぶ

しーあ
VOL.125

SIA

2023 Winter



公益財団法人 滋賀県国際協会

Shiga Intercultural Association for Globalization

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20 ビアザ淡海2階

TEL.077-526-0931 FAX.077-510-0601

E-mail: info@s-i-a.or.jp URL: https://www.s-i-a.or.jp

特集

国際体験のすすめ

今回は、大津市在住で元NHKアメリカ総局長の脇田哲志さんに、自らの経験を通しての国際体験・国際交流の重要性について、お話をお聞きました。

また、若い世代の海外体験記として、彦根工業高等学校の海外インターンシップの取組をご紹介します。

海外渡航が以前の勢いを取り戻しつつある一方で、世界情勢は日々目まぐるしく変わる今、世界に目を向けること、国際交流を続けていくことの意義について、改めて考えてみませんか。

「肌感覚」の国際体験から

元NHKアメリカ総局長 脇田 哲志

情報誌『SIA』の編集部から「海外経験から感じ取ったこと」や「若い世代に必要な海外経験とは」について記すようにとのご依頼を受けました。ただ、私の「海外体験」は治安の悪い南米の国で取材中に銃を突きつけられたりといったワイルドな要素も多く、多くの方にあまりお勧めできるものではない気がして、ためらいを感じます。しかし同時に、この国のちょっと内向きな様子、たとえばインバウンド観光客は大歓迎なのに難民には冷淡、といったことには心配がつのりますので、私が肌感覚で得たものについてお話いたします。

▶ 「人の心は、みな同じ」を「知る」



▲ハイチ大地震取材で現地スタッフと(右から4人目が筆者)

私はNHKの特派員として長年、国際報道に携わりました。駆け出しは事件記者でしたので、取材現場を海外に移しても、海外で起きる事件・事故や災害、紛争・戦争、貧困や飢餓、難民・移民、人種差別や民族問題など、かなりやっかいな？問題を現場から伝える仕事が多くなりました。特派員としてアメリカのロサンゼルス、ニューヨークには2回、中国の北京にも駐在し、世界50カ国あまりを取材しました。

この写真は、現役時代最後の大がかりな現地取材が終わった時に、取材を手伝ってくれた現地の人たちと撮ったものです。南北アメリカ諸国の中で「もっとも貧しい国」はどこでしょうか？ それはカリブ海の島国ハイチです。2010年1月、この国を

Contents

① 特集

国際体験のすすめ

- ◎「肌感覚」の国際体験から
執筆/脇田哲志さん(元NHKアメリカ総局長)
- ◎海外インターンシップ体験記

④ SIA NEWS

- ① 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2023を開催
- ② 第5回 国際交流・協力ライブチャンネル「ルワンダの今を知る」を開催
- ③ 滋賀県総合防災訓練において「外国人避難者対応訓練」を実施
- ④ 日本語を母語としない子どもと保護者のための「未来のための進路ガイダンス2023」を開催

⑤ 今、この人にInterview

高島市森林組合で働くフォレストワーカー
ダグラス ヒートンさん

⑥ おしえて世界のこと

その国ならではのリラックス方法、癒しアイテムは何ですか？
新任国際交流員紹介

⑦ SIAメンバーズ

マグニチュード7.0の大地震が襲いました。当時アメリカ総局長だった私は同僚たちとともにハイチに急行したのですが、大統領官邸や教会などの立派な建物まで崩壊。ましてや土の壁の粗末で脆弱な庶民の家は多くが跡形もなく崩れ落ち、感染症も蔓延して、犠牲者はなんと23万人にも達しました。まさに「貧困が人を殺す」という実例です。この集合写真の人たちのなかにも、奥さんや子どもを亡くした人、親の行方がわからない人もいたので、「そんな中でもなぜ取材を手伝ってくれるの?」と尋ねると、「私たちの国は貧しく救助活動も外国頼み。これからの復興も外国の援助次第なので、被害の実態を世界の人たちに知ってもらわなければならないので

伝っている」と悲しみをこらえながら話してくれました。世界は、そして日本は、この人たちの期待に応えられているのか……それは今も続く疑問です。

まだ治療法が確立されていなかった90年代のアメリカで、取材する私の手を握りしめて離そうとしない死の床のエイズ患者。内戦が続いたエルサルバドルで、ただ静かな暮らしがしたいだけ、と語る元女性ゲリラ。月一度しかない配給の貴重な豚肉を全部使って、もてなしてくれたキューバの主婦。海外の現場を取材して、肌の色や外見が違って「人の心は、みな同じ」であることを、実感で知ることができました。



▲ウイグル人の子どもたち

▶「人間は移動する動物」であることを「知る」

中国では、チベットなど少数民族を取材する機会がありました。中国最西部の新疆ウイグル自治区では、民族教育に熱心に取り組むウイグル人の教師たちが「ウイグル語は日本語と語順が同じです」と言って、お茶に角砂糖をいっぱい放り込んで歓待してくれました。民族の独自性の主張が当局によってキツク抑え込まれている現在、彼らがどうなっているのか心配でなりません。イスラ

ム教徒として、お隣の中央アジアなどの人々との往来を大切にしてきた人たちに接して「国境って、いったい何なんだろう」と考えさせられました。国境を越えて動く人の流れは、決して止めることはできないものです。

先に紹介したハイチでは、あの地震以降も政情不安と経済危機が続いて、「豊かなアメリカ」をめざし国を脱出する人が絶えません。国連の統計によると、国境を越えて他国へ移り住んだ人は、2020年現在で2億8,100万人。人間は狭い地球上を「移動する動物」であることを知ることも大切です。ですから「どこのだれであれ、どこに来て、人間としての尊厳は等しく尊重されなければならない」という「国際ルール」があるのです。

▶「多様性の落とし穴」を「知る」

アメリカで忘れられないのは、1992年4月のロサンゼルスでの出来事です。黒人を路上でめったうちにした白人警官たちに「無罪」評決が下されたことをきっかけに大規模な黒人暴動が発生し、商店などが略奪のうえ放火され、街が炎と黒煙に包まれました。被害を受けた店主の多くは、なんと韓国系の移民たち。暴動は、全米一の規模を誇ったコリアタウンにも迫り、店主たちが銃で防戦する姿を取材しながら、白人による黒人差別で、なぜ黒人とコリアンというマイノリティ同士が戦うことになるのか? 動乱の朝鮮半島を逃れてきた人たちが何とか生計を立てようと貧しい黒人街に現金商売のお店を開き、それを「自分たちからお金をむしり取ろうとしている」と考えた黒人たちが、白人への怒りを手近なコリアンへ向けてしまった……。アメリカの難しい人種問題と移民問題を目の当たりにしました。

そして2008年、アメリカの多くの人たちがまさかと思っていた初の黒人大統領が誕生し、「これで人種問題が克服できる」と、ニューヨークの街角は人々の興奮に包まれました。そこには「移民の国アメリカ」らしく「多様性こそが新たな価値を生み出す」という楽観的な考え方があふれていました。しかし8年後に登場し

たのは、トランプ大統領。人種・民族の多様化が進むアメリカは、中南米系やアジア系の人口がどんどん増えていて、建国以来ずっと



▲暴徒に応戦する韓国系店主 1992年ロサンゼルス暴動

多数派だった白人は、2040年代には「人口の過半数を切る」と予測されています。そこでトランプ氏は選挙戦で、メキシコなど中南米からの移民の排斥や、イスラム教徒の入国禁止を訴えつづけました。それは「もうすぐ少数派に転落するかも」という一部の白人層の焦りや苛立ち、不安感に付け込もうとするもので、狙い通り多くの白人票を得ての当選となりました。それは「移民の国」で「多文化主義」のはずのアメリカにおいてすら、「多文化共生」が実に難しい課題であることを示すものです。2020年の選挙でバイデン大統領に敗北したトランプ前大統領は、いまだに敗北を認めず、来年の大統領選挙での「復権」を目指し突き進んでいます。

▶ 「恐怖感」は「知ること」で消える



▲ノーマン ミネタさん

さて、日本では現在、外国生まれの人は人口の2%。しかし国の研究所は今年4月、日本の人口は2070年には8,700万人まで減少するなか、外国人は全体の10%を超えるという予測を発表しました。「実習」の名目で厳しい労働環境に置き、難民には狭き門。外国人へのヘイトも横行する日本の「多文化共生」は、これからが本番です。

そんな私たちにすばらしい言葉を残してくれたある日系アメリカ人を最後に紹介します。明治以降、アメリカやブラジルなどに移民した日系人の取材は、アメリカ駐在の特派員にとっては大切な使命です。特に日系アメリカ人は、日米戦争のさなかに「日本にルーツがある」「日本人の外見をしている」だけの理由で12万人あまりが強制収容されるという差別と人権無視の極致のような歴史体験をしました。戦後、日系人として初めて閣僚となったのが、強制収容を体験した日系2世ノーマン ミネタさんでした。2001年9月11日、ハイジャックされた4機の旅客機がニューヨークの高層ビルなどに突っ込み、およそ3,000人の犠牲者が出る史上最悪のテロ事件が起きた時、ミネタさんは空の安全を管轄する運輸長官だったのです。19人のテロリストは全員アラブ系のイスラム教徒とわかり、恐怖に駆られた国民や政治家の間から「空の安全のためにアラブ系やイスラム教徒は飛行機にいっさい

搭乗させるな」という声が沸騰しました。しかしミネタ運輸長官は「外見や肌の色で人を選別する誤りを、私は実体験で知っている」と述べ、「人種による選別」の要求を毅然と拒否したのです。のちにミネタさんは、このテロ事件以降ヘイトの標的ともなったアラブ系や、日系の若者たちを前に、テロやヘイトには「知らないものへの恐怖感が裏にある」ことを指摘した上で、以下のメッセージをNHKの番組に残しています。

「お互いを知ることが重要です。恐怖感未知から生まれるのです。何かについて、誰かについて、知れば知るほど恐怖感は消えていきます」。

国際理解を深め、ほんとうの多文化共生を実現するために必要なのは「知ること」。そのために海外に飛び出すこともいいですし、この滋賀県に暮らす36,000人あまりの外国人のみなさんと、もっともっとお互いに知りあうことも大切です。

執筆者プロフィール

脇田 哲志(わきた てつし)さん

大津市在住。元NHKアメリカ総局長。中国総局長や国際放送局長もつとめた。京都光華女子大学名誉教授。外国人に近江の魅力を紹介しようと、現在、滋賀県文化財保護協会主催の「歴史文化遺産ガイド育成講座」で研修中。



海外インターンシップ体験記

今回のドイツ留学は、自分の将来を変えるきっかけになったと思います。なぜかと言うと今回の留学でドイツと日本の教育システムや文化の違いを実際に肌で感じる事が出来たことに加えて、3週間その文化に触れる事ができたからです。中でも、特にYANMAR COMPACT GERMANY GmbHという企業に



インターンシップさせて頂いた経験が自身の成長につながりました。

事前に企業の歴史を学ぶ中で、創業者の山岡孫吉氏がルドルフディーゼル博士の功績をたたえるために贈った記念石庭苑の存在を知り、現地で清掃ボランティアを行いました。現地清掃員の方々や独日協会の職員の方からも、普段の石庭苑の様子や、80年間の歴史を伺いました。自分の殻を破って、見知らぬ人に話しかけることができ、生き抜く力を身につけることができました。

今回のドイツ留学は、自分の将来を変えるきっかけになったと思います。なぜかと言うと今回の留学でドイツと日本の教育システムや文化の違いを実際に肌で感じる事が出来たことに加えて、3週間その文化に触れる事ができたからです。中でも、特にYANMAR COMPACT GERMANY GmbHという企業に

留学体験者：北川 尚貴(滋賀県立彦根工業高等学校機械科 2年)
留 学 先：ドイツ連邦共和国 アウクスブルク、クライスハイム
留 学 期 間：2023年8月18日(金)～9月8日(金)
(インターン期間：2023年8月28日(月)～9月1日(金))

企業でのインターンシップでは、特にエンジンの組み立て作業が印象に残っています。実際にショベルカーのエンジンの構造や組み立て方などを丁寧に職員の方に教えてもらいながら作業しました。私と同世代である職業学校実習生の方々が工作機械を使いこなしている姿に刺激を受け、早い段階から将来について考えることの大切さを学びました。

私はこの留学を通して、未知のことに挑戦できる度胸がついたと思います。インターンシップを通じてお互いの文化や考え方



方の違いを理解し、尊重することの大切さを学びました。これからさらに日本でも外国人労働者が増えると思うので、私自身がその方たちのサポートを行い、架け橋になれたらと思います。

日時 2023年8月9日(水) 13:00~16:30
会場 ピアザ淡海(大津市) **参加者** 46名
内容 分科会1「子どもの権利」ワークショップ
 分科会2「滋賀の歴史から考える多文化共生」
 分科会3「となりのムスリム・ムスリマ」
 分科会4「国際教育・多文化共生の必要性 ~多国籍化する学校現場から~」
共催 JICA関西 **協力** 国際教育研究会 Glocal net Shiga

News

1

国際教育教材体験フェア in 滋賀 2023を開催

分科会3でお話いただいた講師の岡さんは、元青年海外協力隊モロッコ隊員という経験等から、日頃、出前授業などを行われています。イスラムに対するイメージを尋ねると、あまり自分の世界とは関係がないという認識の人たちが多いことから、「より身近に感じてもらいたい、ムスリムのほとんどの方たちは平和を愛する人たちであることを知っていただきたい」と、今回いくつかのワークショップを紹介されました。イスラムにまつわるビンゴ、ものランゲージ、そして日本各地で実際にあったムスリムの方たちが経験した困りごとやトラブルの事例について解決策を考えるケーススタディを体験。参加者からは、「正しく知ることの大切さを感じました」といった感想が寄せられました。



▲ものランゲージ 国立民族学博物館貸出用学習キット「みんぱく世界のムスリムのくらし」の中からコーラン等に触れる参加者

使用教材:「SDGs実践教材集 身近なことから世界と私を考える授業Ⅲ」(明石書店) [みんぱく▷ https://www.minpaku.ac.jp/teacher/school/minpack](https://www.minpaku.ac.jp/teacher/school/minpack)

News

2

第5回 国際交流・協カライブチャンネル「ルワンダの今を知る」を開催

日時 2023年10月7日(土) 16:00~17:30 **参加者** 15名 **協力** JICA関西



オンラインでの国際交流イベント、ライブチャンネルを開催しました。今回はアフリカ大陸の中部に位置するルワンダ共和国のJICAルワンダ事務所から、現地の食文化や生活の様子等を、ライブ中継を交えて紹介いただきました。後半では、ルワンダにおける女性の社会進出にテーマを絞り、ルワンダで働く女性へのインタビューを通して、ルワンダの現状を学びました。

参加者からは「ルワンダのジェンダーに関する実情や感じていることを当事者の言葉で聞くことができた」「今まで持っていたルワンダのイメージが変わった」といった感想が寄せられました。リアルな現状を知ること、データや資料だけでは分からないことや見えてこないことを、感じ取っていただけたのではないかと思います。次回のライブチャンネルもぜひご参加ください。

News

3

滋賀県総合防災訓練において「外国人避難者対応訓練」を実施



外国人県民等が被災した場合、言語のちがいがらくる情報不足をはじめ文化や習慣のちがいが、また、地震の経験が少ないなどの点を含めた配慮が求められます。こうした外国人避難者を避難所で受け入れ、多言語や「やさしい日本語」による情報提供を行う訓練を実施しました。外国人避難者役として国際交流員やびわこ奨学生、災害時外国人サポーターにもご協力いただき、翻訳アプリ(VoiceTra)を使ってコミュニケーションを取る体験を膳所学区住民の方にしていただきました。また、自主防災会の方には多言語表示シート作成ツールの操作体験をしてもらい、「いざとなったらすぐに使えるよう、普段から多言語の資料を用意しておこうと思った」と多言語ツールの必要性を実感してもらえる良い機会となりました。

日時 2023年10月15日(日) 8:30~11:30
会場 膳所小学校体育館
内容 ①外国人避難者の受付訓練
 ②外国人避難者の相談対応訓練
 ③「災害時多言語表示シート」作成ツールの操作体験
 ④災害時外国人支援に関する展示
主催 滋賀県国際課、大津市MICE推進室、(公財)滋賀県国際協会、(公財)大津市国際親善協会

News

4

日本語を母語としない子どもと保護者のための「未来のための進路ガイダンス2023」を開催

(大阪出入国在留管理局職員による無料の在留資格相談会も同時開催)

日時 2023年10月22日(日) **会場** 滋賀県立男女共同参画センターG-NETしが 大ホール(近江八幡市)
参加者 53名(9か国25組 子ども24名、保護者等25名、関係者4名)

今年の先輩ゲストは、現在、外国人児童生徒支援のお仕事をされているオオタ ラファエル タカハルさん。勉強を頑張ることの意味や進路に関する情報収集の大切さ、そして保護者等への力あるアドバイスをスピーチくださいました。後半は滋賀県教育委員会事務局より進路の冊子に沿って主に公立高校への進学についての説明がありました。その後の個別相談では、進学や在留資格(大阪出入国在留管理局)に加え、今年は公立定時制高校や日本語コースのある私立高校、学習支援団体など多様なブースで参加者達が熱心に相談をされました。



8か国語の資料

今年度から
ネパール語が追加されました!

「未来のための進路ガイダンス」は、当協会のHPからダウンロードできます

<https://www.s-i-a.or.jp/index.php/projects/multicultural>

今、この人に **いんたびゅう** Interview

高島市森林組合で働くフォレストワーカー

ダグラス ヒートン さん

高島に来て、フォレストワーカーというやりたい仕事が見つけれられました。林業に携わるようになり、常に“安全”に対して厳しくなりましたね。



■2016年に来日されたということですが、以前から日本に興味は持っておられたのですか？

黒澤明監督作品やジブリの映画が好きでよく見ていましたが、日本に憧れがあったということではなく、たまたま東京で英会話講師をしていた友人から誘われて興味を持ち、イギリスで英会話講師の資格を取得してから来日しました。母国では銀行員の仕事でパソコンを使ったデスクワークでしたが、銀行員も自分が本当にやりたい事でもなかったのも、何となくチャレンジの気持ちで日本に来ました。

■日本で英会話講師をするということで、日本語の勉強はされたのですか？

日本語はできないままで来日しましたが、東京や横浜など、都会で住むには日本語ができなくても全く問題はありませんでした。ただ、地方に来ると日本語は必要になりますね。高島に来てからは日本語漬けなので、今は日本語が聞き取れるようになり、話すこともできるようになりましたが、まだまだです。英語での会話は、家に帰って妻と話すだけです。難しい会話は英語で、簡単なことは日本語で話しています。

■高島には2021年のコロナ禍で来られたということですが、それは林業をしたいという思いからだったのでしょうか？

そういうわけではありません。2019年に横浜から京都に移りましたが、翌年、新型コロナ禍で働き方が一変しました。オンライン授業への対応に切り替わり、室内だけの仕事にストレスを感じるようになりました。心機一転、妻と相談して京都へのアクセスも良い琵琶湖岸の高島市への移住を決めたことで、このまちで仕事をしたいと思うようになりました。ハローワークに通い、見つけたのが高島市森林組合の林業従事者の募集でした。初めての仕事で日本語もどれくらい必要か不安でしたが、飛び込むことにしました。

■デスクワークから一転、体を動かす仕事に転職されましたが、今は仕事にどのように向かっておられますか？

今は20~40歳代のフォレストワーカー6人がチームとなって木の伐採などの仕事に取り組んでいます。山の中では危険が伴い、マムシやハチ、漆、熱中症も含め、気を抜けない仕事です。ですからチームでの仕事は安全に対して厳しい姿勢で取り組んでいます。私自身はフォレストワーカーとして研修2年目で、来年卒業します。私より若い職員さんも入って来られたので、フォレストリーダーに向けてキャリアアップも目指さないといけないと思っています。

■日本に来られて、日本人のイメージに変化はありましたか？

そうですね。日常のことで言うと、自転車の乗り方ですね。逆走行で走っている人をよく見ます。イギリスにいた頃から、日本人はルールに厳しいイメージがありました。そのイメージは変わらないのですが、自転車の乗り方だけはルールがあまり守られていないことに驚いています。それと、ルールは大事ですがフレキシブルさも必要です。例えば、私の仕事の木の伐採ですが、伐採方法を習ったとしても、一つとして同じ木はないので、一つの方法で全ての木が伐れるわけではありません。固定観念に縛られず、柔軟に考えることも必要だと思っています。

■フォレストワーカーの仕事に携わって2年目ということですが、この仕事は好きな仕事となりましたか？

はい、やりたい仕事がよく見つけられました。この仕事に関わって、それまではあまり意識していなかった「安全」に対して、今は仕事以外でも一番に気にする言葉になりました。また、林業は農業に似ています。スギやヒノキは人が植えた木で、それを材木にするために育てています。ですから、本当の自然とは言えず、時間のあるときは天然森を求めて山に登り、そこでリラックスしていますね。

■最後に今後の目標とメッセージをお願いします。

近い目標としては、仕事に必要な丸太を集める「グラップル」やショベルカーを

▲「今は、秋時間で朝7時から4時までの勤務ですが、夏は6時から3時までの勤務でした。家が琵琶湖岸なので、今年の夏は帰宅すると琵琶湖でよく泳いでいました。カヌーもたまにしています。休日は、自宅の庭に自作したレンガのオープンでパンを焼いています」

●プロフィール●

英国イングランドのピーターバラ出身。大学を卒業後、銀行員として働いていたが、日本に住む友人から誘われ、2016年に英会話講師として来日。東京、横浜で英会話講師として働いた後、2019年に日本人女性との結婚をきっかけに、講師の仕事で京都に移す。その後、新型コロナウイルスの影響で状況が一変し、オンライン授業への対応や感染対策に追われる日々ストレスを感じるようになり、2021年高島市マキノ町へ移住。現在、高島市森林組合で林業作業士(フォレストワーカー)として働く。



▲「高島市は70%が森林、イギリスは7%なので、母国で林業の仕事をするのは厳しいですね。高島市森林組合では年に12,000㎡伐採しています。林業の仕事を始める前に、業務で扱うためのチェーンソーの資格を取得しました」

運転できる免許を取得するつもりです。林業という体が大きくないといけませんが、こうした重機で仕事をするので、どんな体格の人でも大丈夫です。

県内では海津大崎が好きですね。好きになったこの高島地域で仕事もプライベートもエンジョイしています。近々ピロウチに挑戦します！

おしえて?世界のこ

テーマ

その国ならではの
リラックス方法、
癒しアイテムは何ですか?

今年も残り少なくなってきました。コロナ前の日常が戻ってきつつあるものの、まだまだ体調管理に気を抜けない1年間だったと思います。特に今年は、急に暑くなったり寒くなったり、それだけでも気付かないうちに疲れやストレスが溜まっているかもしれません。

そこで今回は、世界の国々のリラックス方法、癒しアイテムについて聞いてみました。ぜひ日々の生活に取り入れて、1年間の疲れを癒してください。

■コロンビア

白根 昇さん (JICA海外協力隊員)

コロンビアの人たちのリラックス法といえば、ダンス、音楽、ヨガ、読書等いろいろありますが、私が住む首都ボゴタにおいて独特のものと言えばシクロピア(自転車の道)です。毎週日曜日に朝7:00から午後2:00まで市内のメインストリートが全長約120kmにわたって自転車天国に変わります。自転車だけでなく、スケート、スケボー、ランナー、そして犬と散歩など人それぞれの楽しみ方をしています。沿道にはジュースやフルーツを売る店やパンク修理屋さんがあちこちに並びます。このシステムは1974年に始まり現在も続いています。



■アメリカ

松原 勇太さん

(滋賀県ミシガン州経済交流駐在員)

私や私の家族がミシガン州に来て一番の癒しとなっているのは「リス」です。ミシガン州では野生のリスをアパートの敷地内や街中、いたるところで見かけることができます。特に大学構内にいるリスは人に慣れているので、立ち止まると、エサをくれることを期待してかわいい仕草で近づいてきます。日本でなじみのシマリスや黒毛など種類もさまざま。子どもたちとピーナッツを持って大学に散歩に出かけるのが我が家のリラックスタイムとなっています。



■中国

西村 文彦さん

(滋賀県誘客経済促進センター〈湖南省〉所長)

中国人のリラックス方法と言えば、まず思いつくのが「散歩」です。私たち日本人は夕食後、家であつろぐのが一般的ですが、多くの中国人は散歩に出かけます。家族で、カップルで、一人で人それぞれですが、のんびりと歩いている姿をよく見かけます。また、長沙ではここ数年で大きな人造湖のある風光明媚な公園が数か所整備され、多くの人々が散歩やジョギングを楽しむ憩いの場となっています。夜風に吹かれながらの散歩の時間は、1日をリセットする大切なリラックスタイムなのかもしれません。



■ブラジル

ギマランイスさん (滋賀県国際交流員)

人による部分は大きいですが、ブラジルでは国内ドラマが昔から非常に人気であり、ドラマを見てリラックスする人が多いです。私のおばあちゃんも、テレビでドラマを見ているときだけは、声をかけられても「CMまで待ってね」とよく言っていました。放送される作品は子ども向け、コメディや時代物まで、幅広いエンターテインメントを提供しています。近年でこそ、ストーリーミングサービスの普及によってテレビのドラマを見る人が減ってきているのは事実ですが、ブラジルは今でも、世界中にドラマを輸出しているほど、数多くの素晴らしい作品を生み出すドラマ大国と呼ばれています。

■ガボン

桂 武邦さん

(JICAガボン支所企画調査員)

“ガボンの癒しの木” 国土の8割以上が森林に覆われたガボンでは色々な木がありますが、その中でアフリカ数か国にのみ分布し、昔から木材として活用されている「オクメ」という大きな木があります。ガボンの国章にも書かれている象徴的な木なのですが、なぜこの木が癒しアイテムなのかという、このオクメの樹脂がものすごくよい香りなんです。言葉で表現しづらいのですが、爽やかでかつ深みがあり、嗅ぐとすごく落ち着きます。常に家の中に充満させておきたい!ちなみにオクメの樹皮は伝統的に薬としても用いられ、樹脂はたいまつにも使用できる大活躍の木です。



■セントルシア

山口 咲子さん (JICA海外協力隊員)

セントルシアのリラックス方法といえば、カリブ海の青い海を見ながらのビーチでの散歩や海で泳ぐこと、また山や森でネイチャーハイクを楽しむことです。また、多くのセントルシア人の家からは青々とした山や木々、海などの自然が見えます。日常から自然にリラックスできる環境に身を置いているようです。私がセントルシア人からよく言われるのが、Take your timeとNo rushです。どちらも「急がなくていいよ」というニュアンスですが、日常から穏やかにリラックスして過ごすことをセントルシア人は心掛けているようです。



滋賀県のみなさんどうぞよろしく!

滋賀県国際課所属 国際交流員紹介

Harry Broughton (ハリー ブロートン)さん

2023年8月から滋賀県国際交流員に着任

▶ 出身国 イギリス

仕事上の抱負

滋賀県の世界における知名度を更に上げることに貢献したいです。また、主な業務は翻訳(通訳)・出前講座であり、出前講座での学校への訪問を通じて、生徒が国際交流に興味を持つように努めています。

滋賀(日本)で体験したいこと(仕事以外)

琵琶湖一周「びワイチ」してみたい! 加えて、紫式部は世界文学史に重要な人物で、石山寺にもう行ってきました! 彦根城でひこにゃんにも出会い、嬉しかったです。紅葉が進んだら、びわ湖パレイに行きたいです。



ひとことPR

この機会を「一期一会」と思い、毎日よく頑張っ、一日も早くお役に立てれば幸いです。SIA読者の皆様、どうぞよろしくお願いたします!

2023年度 第63回
国際理解・国際協力のための
全国中学生作文コンテスト
(主催:外務省、(公財)日本国際連合協会)

大津市立仰木中学校1年
打味拓真さん銀賞受賞



全国から2,255作品の応募があり、予選を通過した53作品の中から、打味さんの作品「SDGsの目標達成に向けたプランクトン研究の将来性について」が「銀賞」を受賞されました。おめでとうございます!

SIA メンバーズ

Members of Shiga Intercultural Association for Globalization

SIAメンバーズ各店より滋賀県国際協会会員の皆さまに会員相互の交流を目指して
会員特典を提供いたしております。特典利用の際は会員証を提示してください。

お店コーナー

神原税理士事務所

日々の帳簿処理、会計や税金について、できるかぎり、お客様の立場でわかりやすくサポートします。とくに海外勤務や英文経理の経験がある税理士が、日本語が苦手な外国人事業者の確定申告や中小外資法人の会計税務にも対応します。



会員特典 相談料無料(何でも気軽に相談ください)

住所: 草津市南草津2丁目3-9
コミュニティ南草津ビルⅢ3F-B
(南草津駅西口より徒歩5分)
電話: 077-599-3480
(電話受付可)

URL: <http://www.kambara-office.com>
営業時間: 9:00~17:00
定休日: 土・日・祝



中華料理 オーパスワン



★忘年会・新年会のご予約承ります★
・おすすめコース
お1人様 3,800円(税込)
+飲み放題 1,500円(90分)
★年末・年始の営業★
12/29まで
1/5から

会員特典 会員証提示でソフトドリンク1杯サービス

住所: 野洲市市三宅2531 アルテールななのい1階
電話&FAX: 077-586-6028
営業時間: ランチ 11:00~14:00
ディナー 17:30~21:30
(ラストオーダー21:00)

JR野洲駅徒歩5分 駐車場完備
定休日: 水曜日と第1・第3木曜日
※定休日は予告なしで変更になる場合がございます。事前にご確認ください。



西洋料理 ロジェ・ソバージュ

記念のフルコース お一人様 税込み1,650円(昼・夜とも)

- 〈メニュー〉
- 冷製オードヴル11種盛合わせ
 - 本日のポータージュース
 - パン
 - 魚料理:貝類と菱蟹と真鯛のギリシャの細パスタ包み
 - 肉料理:牛肩肉のステーキ グラタン仕立て
 - サラダ
 - デザート:ケーキ・フルーツ・アイスクリームの盛合わせ
 - コーヒー又は紅茶



会員特典 グラスワイン or ソフトドリンク or ノンアルコールビールのいずれか、お一人様一杯サービス

他のサービスとの併用はできません。

住所: 近江八幡市堀上町99-12
電話: 0748-36-8123
営業時間: ランチ 11:00~14:00
ディナー 17:00~21:00
定休日: 不定休



Siam Erawan サヤームエラワン



「微笑みの国・タイ王国」を紹介するサヤームエラワンは、シェフのノイさんが作る本物のタイ料理(当店はタイ政府よりタイ・セレクト・シグネチャーの認証を得ています)のご提供や、タイ料理教室(出張可)など各種イベントを開催しています。ランチ・ディナーは夏期のみ営業です。公式ホームページから営業日やイベント内容をご確認いただけますのでご覧ください。(LINE・Facebook・Instagramあります)



会員特典 各種教室料金・飲食代(テイクアウトは除く)5%OFF

住所: 東近江市八日市町11-16
営業時間: ランチ 11:30~ 定休日: 日・月曜日
電話: 0748-22-0422 携帯: 090-1131-9344
URL: <https://www.siamerawan2558.com>



ドイツレストラン ヴルツブルク German Restaurant WURZBURG



今年も、冬の定番デザート「カイザーシュマーレン」や、寒い冬にぴったりなホットドリンク「グリューワイン」などを提供予定です。ドイツの定番の甘味を、ぜひご賞味ください。

会員特典 5%飲食代金割引(ご本人含む6名様まで)
※クレジットカード・その他割引との併用不可

住所: 大津市由美浜5番地
電話: 077-526-3500 FAX: 077-526-3539
E-mail: wurzburg@mx.bw.dream.jp
URL: <https://www.wurzburg.jp>
営業時間:
ランチ 11:00~15:30(ラストオーダー 14:30)
ディナー 17:00~21:00(ラストオーダー 20:00)
定休日: 不定休



ミシガン州立大学連合日本センター

〈2024 冬季 英語プログラム受講生募集〉

【開講期間】

2024年1月9日(火)~3月8日(金) 全8回

【教室】ミシガン州立大学連合日本センター(彦根市松原町1435-86)

近江八幡教室(近江八幡市鷹飼町454-4 Nビル)

【クラス】

- 一般コース: 初級から上級まで5コース(1クラス60分・高校生以上対象)
- EBC: バイリンガル小中学生クラス

会員特典 受講料5%OFF(ご本人のみ)

※お申し込み時にSIA会員であることをお申し出ください。

〈子ども英語教室2023も随時募集中〉
(2023年4月4日~2024年3月8日)

住所: 彦根市松原町1435-86
電話: 0749-26-3400 FAX: 0749-24-9356
URL: <https://www.jcmu.net>
E-mail: sifah@mx.bw.dream.jp



各クラスの
詳細はHPを
ご覧ください

SIAメンバーズ



アプルネの オンラインにほんごクラス

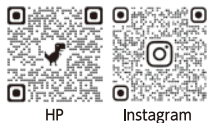
しよきゅう、ちゅうきゅう、じょうきゅう。しょうせつ、マンガ、ビジネスにほんごも。げつようび〜もくようび。あさ、ひる、よるのクラスも。ZOOMで。もうしこみはメール、HP、インスタ。



〜にほんごクラス PRICE〜
グループ・レッスン /
☆オンライン 1かい 75 ふん
いっかげつ 5かい 4,950えん
4かい 3,960えん
(げっしや・せいこみ)

会員特典 **ねんかいひ3,000えん→2,000えん**

URL : <https://www.apprenez-langues.com/>
E-mail : apprenezlemonde@gmail.com



地球雑貨アース・ヴィレッジ

東南アジアを中心に店主自らが現地へ赴いて仕入れた品々が所狭しと並ぶ民族雑貨店。その土地ならではの自然素材の特徴を活かした手作り雑貨や伝統的な民族楽器など、味わい深い品物を手に取って、地球に息吹く様々な文化や人々の営みを感じてください。



◀ジャンベ・ディジュリドゥーの取り扱い
は国内最大級! 初めての方には演奏方法などレクチャーいたします。

会員特典 **SIA会員証提示で全商品5%OFF**

住所: 〒521-1311 近江八幡市安土町下豊浦5096-31

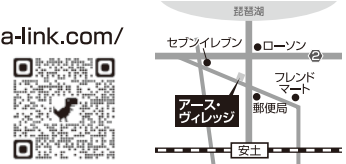
TEL: 0748-46-2007

URL : <https://www.gaia-link.com/>

営業時間: 9:00~19:00

定休日: 毎週日曜日

※ホームページ内でも商品の購入が可能です。



トラベルコーナー

会員証を提示いただけますと、割引特典がご利用いただけます。
お申込・お問い合わせの際には滋賀県国際協会の会員であることをお申し出ください。

東武トップツアーズ 滋賀支店

いつの時代も、旅には「安全」と「安心」が求められてきました。旅を愛する、旅を求める、すべての人たちと共に、東武トップツアーズは、新しい旅のあり方を追求してまいります。
私たちは、旅をあきらめずに提供し続けてまいります。

- 会員特典
- 国内パッケージツアー〈FEEL〉 基本旅行代金の5%割引
 - 海外パッケージツアー〈JALPACK〉 基本旅行代金の5%割引

住所: 草津市若竹町17-10 KB21 2階
電話: 050-9001-6304
FAX: 077-565-0112
E-mail: chiharu_hiraoka@tobutoptours.co.jp
URL : <https://www.tobutoptours.co.jp/>
営業時間: 9:30~17:30
定休日: 土・日・祝



琵琶湖汽船 ミシガンクルーズ



びわ湖の南湖を周遊する、赤いパドルが目印の外輪船。湖国大津の玄関口・大津港の他、事前予約制でのおの浜観光港や柳が崎湖畔公園港にも寄港するので、三井寺や石山寺、比叡山などの観光と組み合わせるとお手軽にびわ湖遊覧を楽しんでいただけます。船内では360度に広がる景色をデッキから望める他、観光案内やショータイムもミシガンならではのお楽しみとして充実したクルージングをお過ごしいただけます。



会員 **ミシガンクルーズ・南湖遊覧ポート(平日運航)**
特典 **乗船料10%引(本人含む5名様迄)** ※企画商品などは除く・他割引併用不可

※ピアンカまたは、他の船舶が運航する場合がございます。運航ダイヤなど、詳しくはお問い合わせください。
※ミシガンクルーズは12/9~3/3迄土日祝日のみ運航。(年末年始12/30~1/3除く)

住所: 大津市浜大津5丁目1-1
電話: 077-524-5000 FAX: 077-524-7896
URL : <https://www.biwakokisen.co.jp>
営業時間: 9:00~17:00(予約センター受付時間) 定休日: 無休

SIA会員募集のご案内

当協会の活動に対する理解と幅広い参加をいただくために会員を募集しております。国際交流や多文化共生地域づくりに関心をお持ちの方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- 当協会主催イベント参加費の割引
- SIAメンバーズ各店での利用割引、優待等
- 当協会情報誌のお届け
- 県内イベント案内のメルマガ配信
- 国際情報サロン図書等や国旗の貸出サービスあり

会費

- 学生会員 1口年額 **1,000円**
- 個人会員 1口年額 **2,000円**
- 団体会員 1口年額 **10,000円**

会員情報

[現在の会員数] 2023年10月末日現在
・個人会員/232人・団体会員/87団体
[新規入会] 2023年7月1日~10月31日
・個人/1人

SIAサイトはこちら



ホームページ



Facebook

自動証明写真機

設置のお知らせ

滋賀県パスポートセンター入口横に自動証明写真機が設置されました。是非ご利用ください。

場所

ピアザ淡海1階
滋賀県パスポートセンター入口横
(大津市におの浜1-1-20)

費用

通常仕上げ… 900円
美肌仕上げ… 1,000円